（様式第２号－講師以上用）

（教育研究業績書（講師以上）その１）

|  |
| --- |
| 教育研究業績書平成　　年　　月　　日氏名　　　　　　　　 |
| 教育上の能力に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| １　教育方法の実践例 |  |  |
| ２　作成した教科書、教材 |  |  |
| ３　当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 |  |  |
| ４　その他 |  |  |
| 職務上の実績に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
|  |  |  |

（記入上の注意）

１　この書類は、担当授業科目等に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項について作成すること。

２　「教育上の能力に関する事項」の「４　その他」欄には、１から３に該当するもの以外の事項について幅広く記入すること。

３　「概要」の欄には、教育上の能力に関する事項の各欄及び職務上の実績に関する事項ごとに少なくとも２００字で具体的に記入すること。

（教育研究業績書（講師以上）その２）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 著書、学術論文等　の　名　称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概　　　　要 |
| （著書） |  |  |  |  |
| （学術論文） |  |  |  |  |
| （報告書） |  |  |  |  |
| （その他） |  |  |  |  |

 注） １ 「事項」の欄については、担当授業科目に関連する教育上の業績及び職務上の実績を年月日順（過去→現在）に簡潔に記入してください。

 ２ 項目例は次のとおりです。

 [教育上の業績]

 ・　優れた教育方法の実践例

* 作成した教材の概要
* 審査を受けようとする授業科目に関するシラバス案（審査対象教員が作成したもの）

 ・　各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と内容）

 ・　大学教育改善に関する団体等での活動の概要

［職務上の業績］

○　医師や看護師等医療技術者の場合

* 症例研究会での発表等の活動

○　その他全般を通じて

* 大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業研修等）
* 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要

 ３ 「著書、学術論文等の名称」欄については、著書、学術論文及びその他の順に適切に区分し、年月日順（過去→現在）に記入し、各区分ごとに番号を付してください。

 ４ 「概要」の欄の記入に当たっては、それぞれの概要については、頁数を明確にし、簡潔に記入してください。

 ５ 共著の場合は、本人の担当部分（概要及び掲載頁（Ｐ○○～Ｐ○○）を示して下さい。）を明記し、本人の氏名を明記し、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順（例：編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、××××）に記入してください。 なお、本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。

 ６ 著書、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、出版社や学会からのその旨の証明書を添付してください。